

たんぼのどじょう

たんぼ の どじょう



作:近藤せいけん

「ワァ～、あぶない！」

「にげろや、にげろ！」

一せいに、田んぼのドジョウや、カエルが土の中に、にげこむ。

あめんぼうも稲のねもとへ、にげこむ。

「パシャ、パシャ～」 「グ、グルン、グ」音をたてながら、白い大きなかげがせまってくる。ドジョウやカエルは土の中で息をころして、じっと、白い大きなかげがとおりすぎるのをまっている。

また、音がする、「パシャ、パシャ～」 「グ、グルン、グ、グ、グ」 「パク、パク～」音がちかづく。長いくちばしが、すぐ近くをつつく。ドジョウのなかまが食べられた。「パク、パク～」すぐ真上できこえた。

しんどうもかんじた。「ドン、ドン、ドン」すぐよこがくずされた、「ああ、もう、ダメかな～」

やっと、音がとおざかる。少しずつ、音がとおざかる。

「ホ～よかった、よかった。行ったようだ」

あめんぼうのみはり役が、田んぼのみんなにつげた。

「みんな、しらさぎは飛びさったよ！」

「みんな、みんな、でておいでよ！」 「もう、だいじょうぶだよ～」

土の中のドジョウが、くびをだした。カエルもでできた。

「アァ～こわかった！」 「もうダメかと、おもったよ。」

でも、「よかった、よかった！」 「ずいぶん、長くかんじた～」 「ふう～」

あめんぼうも、ドジョウも、カエルも水もに顔をだした。

「ドジョウさん、カエルさん、今日もぶじでよかったね」

「あめんぼうさん、あなたのおかげだよ。」

「そうだよ、あめんぼうさんがはやくおしえてくれたから、すぐになげられた」

「ありがとう、ありがとう、あめんぼうさん～」

「ううん、そんなことはないよ。みんな田んぼの仲間じゃないか、たすけ合うのはあたりまえだよ」

「そうだねえ。みんな、みんな、田んぼのなかま」

ワッハッハッハ、五月の晴れわたった空のにぎやかなカエルの鳴き声がつづき、初夏の風がふきわたった。

(終わり)